

元気なまちなか



駅舎と調和した
魅力ある景観の街並みに

託児サービスを
利用したい

公共施設を
便利なまちなかに



利用しやすいバスを



家族で住める
住宅を

豪雪地の特色ある
まちなかに



ポケットパークなど
休める場所があるとうれしい



映画館が欲しい

創る

これからのまちづくりには 中心市街地の活性化が欠かせない

本格的な少子高齢・人口減少社会を迎え、岩見沢市でも平成7年をピークに人口が減少し続け、高齢者の比率も増加しています。

人口の減少により、市の財政状況は厳しくなっていくことが予想されており、高齢化社会に対応した持続可能なまちづくりが必要です。

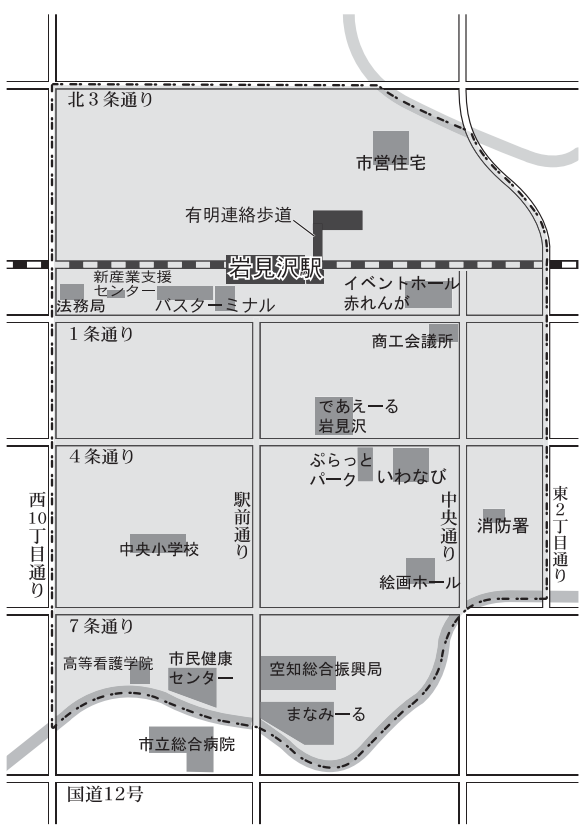
このためには、車を持たない高齢者でも住みやすく、コンパクトで歩いて暮らせるまちづくりが欠かせません。

また、中心市街地に賑わいを取り戻すことは、市の魅力を高めることになり、このことは、市全体に好影響を与えることとなります。

これまでの取り組み

市は、平成20年に中心市街地活性化

活性化を目指す中心市街地の区域図



中心市街地

化基本計画の認定を受け、様々な事業を進めてきた結果、一部の事業では予想を上回る良好な功績のあった

ものもありました。さらに、まちなかの姿は、であえーる岩見沢のオーブンや駅前通りの整備など、計画の実施前と比べ、着実に変わってきています。

しかし、計画がスタートした直後

に、核施設であった西友岩見沢店が撤退したことや、豪雪の影響により古い店舗の解体が進み、その後の土地利用が進んでいないことなど、マインズ要因が大きかったほか、一部の事業には遅れがありました。

中心市街地に 求められる役割

中心市街地活性化基本計画は、3月末で計画期間を終了しますが、依然として、暮らしやすい環境や駐車しやすい環境、楽しく買い物ができる環境など、中心市街地に求められている役割は多くあります。

これらの求められている役割を提示できるよう、継続して活性化に取り組んでいきます。

将来像の実現に向けて

将来像 多世代のふれあいを育み、岩見沢らしい魅力を高めた “活性化の発信拠点”をめざして			
基本方針	住みたいと思う暮らし環境づくり	ふれあいと交流のある賑わいづくり	地域産業の活力を生み出す環境づくり
目標	暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進	岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進	地域を元気にする産業の創出によるまちなか雇用の促進
指標	中心市街地居住者人口	中心市街地歩行者・自転車通行量(平日)	中心市街地従業者数
基準現況値(平成25年)	4,664人	5,017人	7,896人
推計値(平成30年)	4,490人	4,730人	7,570人
目標値(平成30年)	4,800人	5,100人	7,900人
目標達成のための施策	まちなか居住の促進	地域資源の活用と歴史・文化にふれる機会の充実	まちなかでの就職、起業の支援
	安全・安心で歩いて暮らせる環境づくり	回遊を促す魅力的な場や商店街づくり	農業や観光との連携による活動の推進
	便利で快適、潤いを感じる暮らし環境づくり	多世代が集まり、交流できる場や機会の創出	地域密着した事業所の立地促進
	まちなか居住の情報発信、空き地などの有効活用	利用しやすい交通環境の充実、情報発信機能の強化	地域を支える人材育成の促進

皆さんの意見をお聞かせください

岩見沢市まちなか活性化計画(原案)に対する市民の皆さんの意見を募集します。

この原案は、市民の皆さんからの意見や提案を踏まえ、計画の内容を高めていきます。岩見沢市の顔であるまちなかを活性化するために、皆さんの知恵をお貸しください。

なお、原案は、市ホームページのほか、市中心市街地活性化推進室、情報公開コーナー、有明交流プラザ、北村・栗沢の各支所で閲覧できます。

募集期限 3月7日(金)

まちなか活性化に関する意見は、これ以降も受け付けます。

応募方法 任意の様式に、意見(該当箇所とそれに対する意見内容)、住所、氏名を明記して、郵送、ファックス、Eメールまたは直接持参してください。

応募・問合せ先 ☎ 068 - 0024 岩見沢市4条西3丁目
 であえーる岩見沢5階
 岩見沢市経済部中心市街地活性化推進室
 ☎ 31局0101 ☎ 24局2000
 ✉ chukatu@i-hamanasu.jp

提出いただいた意見とその回答は、後日取りまとめのうえ、市ホームページに公表し、個別の回答はしません。

今回紹介した、岩見沢市まちなか活性化計画は、この後市民の皆さんからの意見などを取り入れながら、3月中の完成を目指して策定を進めていきます。

未来へ向けたまちづくりの指針となるこの計画が、より良いものになるよう、市民の皆さんの積極的な意見や提案をお願いします。

問合せ先
 市中心市街地活性化推進室(4西3)であえーる岩見沢内)
 ☎ 31局0101

これからの取り組みに向けて

これまでの取り組みで、まちなかを活性化できなかった要因は、住みたいと思う住宅やアパートが不足していることや、商店街や市民の皆さん

との情報共有が不十分で、目的や必要性を共有しながら取り組みなかつたこと、であえーる岩見沢や生涯学習センターいわなびからの商店

目標	指標	基準値	目標値	最新値
まちなか住まいを促進する	中心市街地居住者人口	4,740人 (平成19年)	5,000人 (平成25年)	4,664人 (平成25年)
まちなか回遊を促進する	中心市街地歩行者通行量(平日)	5,356人 (平成19年)	5,700人 (平成25年)	3,500人 (平成25年)
まちなか雇用を促進する	中心市街地従業者数	8,840人 (平成18年)	8,900人 (平成25年)	7,896人 (平成25年)

【目標値を達成できなかった主な要因】

- ▶中心市街地居住者人口
 駅北土地区画整理事業の区域内において、市営住宅を整備した街区以外の土地利用が進んでいないことに加え、高齢化の進展などによる自然減や転出超過による社会減など
- ▶中心市街地歩行者通行量(平日)
 居住者人口が目標値に達しなかつたこと、有明連絡歩道から中心市街地への回遊が少なかつたこと、まちなかの大型店の撤退や商店街の空き店舗が増加したことなど
- ▶中心市街地従業者数
 一部の事業では予想を超える雇用増があつたが、従業者数100人を超える事業所の撤退や郊外移転、景気低迷による雇控えなど

街への回遊が生まれなかつたことなどと考えています。

これらの要因の分析結果を踏まえ、これからも中心市街地活性化の取り組みを継続して進めます。

みんなで創り、育てる計画として

市は、中心市街地活性化基本計画の2期計画の策定作業を進めてきましたが、早急に認定を必要としなかつたことから、市民の皆さんにとつて、より身近に感じられるよう、「みんなで創り、育てる計画」として、市の独自計画を策定することとしました。それが、岩見沢市まちなか活性化計画です。

岩見沢市まちなか活性化計画は、中心市街地活性化に関するアンケート調査や中心市街地活性化基本計画の2期計画の策定に向けて寄せられていた、市民の皆さんの意見などを参考に、原案を作成しました。

岩見沢市まちなか活性化計画

この計画は、ビジョン編とプラン編からなっており、策定後も必要に応じて内容の追加や修正をしていきます。

10年先を見据えた、中長期的な方向性を示すもので、将来像や基本方針を定めます。

「多世代のふれあいを育み、岩見沢らしい魅力を高めた」活性化の発信拠点をめざして」という将来像に向け、市民の皆さんとの情報共有を進めながら、商店街や民間事業者、まちづくり団体の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

また、「住みたいと思う暮らし環境づくり」「ふれあいと交流のある賑わいづくり」「地域産業の活力を生み出す環境づくり」の3つの基本方針を将来像への道筋として定めます。

プラン編

ビジョン編で定めた将来像の実現に向け、3つの基本方針に沿った取り組み内容を定めます。

活性化の目標である「暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進」「岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進」「地域を元気にする産業の創出によるまちなか雇用の促進」の3つにそれぞれ具体的な目標数値を定め、達成するための施策を示します。